



パパの田んぼは草だらけ

吉岡町立駒寄小学校 1年 志 塚 蓮

ぼくは「いただきます」や「ごちそうさま」をいつもしっかりいっておこめをひとつぶものこさないように食べています。あついなかがんばってつくってくれているのをみているからです。

ぼくのパパはおこめをつくっています。むずかしいことはわかりませんが、くすりをつかわずにそだてています。ぼくのパパが田んぼに行くときによくいっしょについていきますが、ほかの田んぼとちがって、パパの田んぼは草がいっぱいはえています。小さいいきものがかくれられるばしょがたくさんあるから、カエルやクモやアメンボなどがいっぱいいます。いねが小さいときにはカモがおよいでいたり、サギが田んぼからかおをだしていてびっくりしたこともあります。ぼくはいきものがだいすきなので、いきものをかんさつしたり、むしとりにいくのをいつもたのしみにしています。ことしのなつもあつい日にけいトラックにのせてもらい、パパの田んぼにむしとりにいきましました。三十ぶんくらいで、カエルやバッタを三十二ひきもつかまえられました。

パパの田んぼは草だらけですが、そこでおいしいおこめができたり、たくさんのいきものがいたりするので、ぼくにとってはたからじまです。ことしのなつはものすごくあつかったので、ぼくはたった三十ぶんであせびっしょりになりましたが、かえりみちで、

「パパは九十ぶんもかけて、さっきの田んぼを草かりするんだよ。しかも、いちねんになんかいもだよ。」

と、おしえてくれました。いつもパパがあせびっしょりでかえってくるのをみているので、おこめをつくるのはほんとうにたいへんだとおもいます。だから、ぼくはこれからもパパやおこめをつくってくれている人にかんしゃのきもちをもって、おこめをたべたいです。